

第41期（2015年～2016年）

RI会長 K.R.“ラビ”ラビンドラン氏のテーマ

世界へのプレゼントになろう

クラブテーマ

師資相承～そして、自分のためのロータリー活動を

41期会長

慶田 祐一

今年度のRI テーマは「世界へのプレゼントになろう」です。会長のK.R.ラビンドラン氏は、「地位や身の上にかかわらず、才能、知識、能力、努力、そして献身と熱意など、誰でも与えることのできる何かをもっているはずです。私たちは、ロータリーを通じて、これらを世界にプレゼントすることで、誰かの人生に、そして世界に、真変化を起こすことができるはずです。」と述べています。

これを受けて、地区スローガンは、「ロータリー活動を通して、新たな気づきを、そして自己の成長へつなげよう」となっています。

これらは、ロータリークラブの哲学である、親睦、高潔性、多様性を高めながら、奉仕の道を進み、リーダーシップをとっていくという方向性であろうと思います。

そこで、これらを前提として、今期の我らがロータリークラブのテーマとしては、「師資相承～そして、自分のためのロータリー活動を」と決めさせていただきました。

昨年度、我らがロータリークラブは、40周年を迎えた。今までのクラブの活動を振り返り、良き点は確実に受け継いで次につなげるようにし、悪しき所は改良の糸口を見出せば幸いであると存じます。

まずなにより、親睦に留意し、お互いの連携を図り、新しい気づきがもてる例会にし、例会以外でも親睦の機会を広げたいと思います。そして、新たな会員を積極的に迎えつつ、現在の会員相互の信頼を高めたいと考えます。

親睦で我らがクラブの友情の輪を広げ、このようにして培った信頼を、クラブの外へも伝えるためにも奉仕活動を行ってゆき、今期ガバナーの言葉ですが、自分(会員一人ひとり)の人生に繋がるロータリー活動ができるように努力して参りたいと存じます。

今期は各委員長に5年以内会長経験者を2人も就任いただき会長のゆきとどかぬ点をアドバイスしていただくようにお願いいたしました。

何卒1年間宜しくお願ひいたします。



会長	慶田祐一
直前会長	諫山宏義
副会長	山本博史
幹事	梅高賢正
副幹事	廣田千香子
会計	豊永泰弘
S. A. A	諫山宏義
副S. A. A	恒藤雅彦

理事	慶田祐一・諫山宏義 岡崎誠一・山本博史 梅高賢正・豊永泰弘 出口龍馬・中山知康 古田廣美
----	--

第42期（2016年～2017年）

RI会長 ジョンF・ジャーム氏のテーマ 人類に奉仕するロータリー クラブテーマ 奉仕の神髄を見つめ直そう — 奉仕の理想とは

42期会長
岡崎 誠一

1905年(明治38年)2月23日、ポール・ハリス、ガスター・バス・ローア、シルバースター・シール、ハイラム・ショーレの4人で集まり、初めてのロータリークラブ例会が行われてから今年で111年の年月が経ちます。その後、ロータリーは瞬く間に全米に広まり、1925年の20年間で全世界6大陸に広がり、クラブ数2,000以上、会員数108,000人まで拡大しました。親睦と会員の物質的相互扶助団体に過ぎなかったロータリーに、新しい経営学に基づく奉仕理念を提唱したのが、アーサー・フレデリック・シェルドンです。

現在、ロータリーでの奉仕活動はクラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕の五大奉仕が提唱されています。この中でもシェルドンによって提唱された職業奉仕理念は、それまで奉仕の理念を持っていなかつたロータリーに職業奉仕を提唱して発展に寄与しました。私はロータリーに入会して初めて職業奉仕という言葉を知りました。以来、職業奉仕という単語が私の中では気になってきました。

シェルドンの職業奉仕理念は、継続的な事業の発展を得るために、自分の儲けを優先するのではなく自分の職業を通じて社会に貢献するという意図を持って事業を営む、すなわち会社経営を経営学の実践だととらえて、原理原則に基づいた企業経営をすべきだと考えました。日本の経営方針にも古くから似たような精神があります。有名な話では近江商人の「買い手よし、売り手よし、世間よし」の三方よしは有名です。

2016～2017年度は奉仕の神髄を見つめ直し、奉仕の理想を私自身、会員の皆さんと共に改めて学びたいと思います。その中でもロータリーの奉仕の神髄でもある職業奉仕をしっかりと学んでいきたいと思います。職業奉仕精神の普及が人々の幸福、世界平和へと繋がると信じています。



会長	岡崎誠一
直前会長	慶田祐一
副会長	大賀重毅
幹事	梅高賢正
副幹事	恒藤雅彦
会計	江藤直勝
S. A. A	慶田祐一
副S. A. A	山本博史
.....	
理事	岡崎誠一・慶田祐一 古田廣美・大賀重毅 梅高賢正・江藤直勝 進保政・神本博志 安田雅豊

第43期（2017年～2018年）

RI会長 イアンH.S. ライズリー氏のテーマ
ロータリー:変化をもたらす
クラブテーマ
一致団結、楽しみを共有しよう

43期会長
古田 廣美

今年度の国際ロータリー会長のイアンH.S.ライズリー氏のテーマは「ロータリー:変化をもたらす」です。どのような方法で奉仕することを選んだとしても、その理由は、奉仕を通じて人々の人生に変化をもたらせると信じているからです。と述べています。

これを受け2720地区ガバナー永田壯一氏のスローガンは「ロータリーを奨励し、ロータリーを楽しもう」です。そして当クラブのスローガンを「一致団結、楽しみを共有しよう」としました。

本期も親睦と奉仕に重点を置きそこに「楽しみ」を加えクラブ管理委員会においては、例会等を企画して頂きたいのと、夜間(卓話有り)の例会を数回行い親睦や友情の輪を広げて頂きたいと思います。

奉仕プロジェクト委員会においては、職業奉仕・青少年奉仕である「自分がなりたい職業(しごと)の絵」を今年も続けて頂き、もう一つ今年度は環境問題について地球保護の立場からアースデイ2017.7.1～2018.4.22までに一人一本の植樹等の企画をして頂きたいと思います。

公共イメージ委員会においては、奉仕プロジェクト委員会・会員増強委員会と合同で広報する事で今一番問題となっている会員増強について協議して頂きたいと思っています。

全ての事業において一致団結し取り組み親睦や友情の輪を広げ達成感を共有していきたいと思います。

会員が楽しいと感じなければ増強も事業も出来ないと考えていますのでまず、第一に楽しいと感じる例会や事業をみんなで意見を出し合い実行に移しましょう。

なにぶん入会してまだ6年弱でまだまだ勉強しなければならないことが山積みですが、会長として一年間精一杯楽しみながらつとめさせて頂きたいと思っていますのでご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願ひ致します。



会長 古田廣美
直前会長 岡崎誠一
副会長 梅高賢正
幹事 恒藤雅彦
副幹事 堂本高雄
会計 間地健一
S.A.A 岡崎誠一
副S.A.A 江藤直勝

理事 古田廣美・岡崎誠一
安田雅豊・梅高賢正
恒藤雅彦・間地健一
諫山宏義・島田眞一
大賀重毅

第44期（2018年～2019年）

RI会長 バリー・ラシン氏のテーマ
インスピレーションになろう
クラブテーマ
親睦を深めよう 素晴らしい仲間を増やそう

44期会長
神本 博志

1.はじめに

私は、2004年～05年度に会長をしており、今回会長を引き受けることにより、2回目の会長となります。2回目の会長という事態は、当クラブの歴史からみて異常な出来事です。然しながら当クラブの現在の会員数や年令構成等からみて、この事態は今後も、当分の間継続するものと思われます。

ところで私はロータリークラブ入会歴が今年で30年になりますが、この間に社会の変化に応じてクラブの有様が大きく変わってきたように感じています。

第1に会員数の減少です。そのうえ会員数の減少のみでなく、会員増強の対象となる地域の中核となる人々も減少しています。また、もともとわがクラブの有力なメンバーであった大手企業の支店長クラスの方々も、主として経済的な理由により退会しています。

第2に社会や経済の変化により「奉仕の理由」を掲げるロータリー精神が、地域の経済活動の中心にいる人々の理解を得にくくなっています。

第3に会員の入会手続きが容易になったうえ、職業による拘束がなくなったことで、クラブの特徴が希薄化したように思っています。

さらに第4に2016年の規定審議会の決議によって、例会のあり方が多様かつ柔軟になり、インターネットによる例会が容認され、例会の回数や出席の仕方、出席率の確保の方法等が大幅に緩和され、中津平成ロータリークラブのように月2回（うち1回は夜間例会）の例会というクラブもできました。

時代の変化に対応しつつ組織を維持、拡大するという事は、大変困難な事だとは思いますが、これによってロータリー自体が変質してしまうことは避けるべきだと感じています。

2.「親睦を深めよう。」

私は、ロータリークラブの中核的価値は、素晴らしい人々との出会いの場所を提供してくれることにあると思っています。そしてロータリーの提唱する奉仕活動は、その出会いから発生するものだと考えています。ロータリー活動の中での「親睦」は中核となるものです。

①「親睦」の原点は毎週の例会にあります。全ての会員が、毎週1回一堂に会して一緒に食事をし、共に語り合うという場は、親睦を深めるうえで、最も基本的なものです。当クラブは、これまで100%出席を継続していますが、今年度もこれを続けたいと考えています。

そして出席率のみではなく、例会自体も和やかで楽しいものにするため工夫をこらしたものにしたいと考えています。

②当クラブには、以前は「うまいものを食う会」とか「ゴルフの会」等があって、会員相互の親睦を深める会合が活発に行われていました。また、家族を含めたバス旅行や登山等も、頻繁に行われていました。更に地区大会等の行事にも多勢が参加していました。ところが近年は、これ等の活動が下火になったように思います。その理由は様々あると思いますが、今年度は、何とかこれ等の活動を活発化させたいと考えています。

3.「素晴らしい仲間を増やそう」

①私は前に述べたとおり、ロータリーとは素晴らしい仲間との出会いの場であると思っています。会員のひとりひとりには、お互いに敬愛する友人が多数おられると思います。そして私は、増強活動とは、敬愛する自らの友人に素晴らしい友人を紹介し、その出会いの場を提供することであると考えます。「ロータリー精神を学ぶ」とか「奉仕の精神を世界に広げる」とかは、その後のことです。

②今年度の目標は純増4名とし、出来れば女性を入会させたいと考えています。まず純増4名とした理由についてですが、クラブ運営のうえでの経済的基盤を固めるためには、最低でも25名の維持が必要です。また数年後には当クラブは創立50年を迎えることになりますが、その時期までに30名を超える会員数を確保したいと考えています。更にアクトクラブの再建等の事業を行うためにも増強は不可欠です。次に女性会員の入会についてですが、何かと知恵を絞って実現させたいと思っています。

4.青少年奉仕活動について

「自分のなりたい職業の絵」については、今年度も継続したいと考えています。

5.国際奉仕活動について

大田ロータリークラブとの交流を更に深めたいと考えています。



会長	神本博志
直前会長	古田廣美
副会長	安田雅豊
幹事	梅高賢正
副幹事	永岡純一郎
会計	間地健一
S.A.A	古田廣美
副S.A.A	江藤直勝

理事	神本博志・古田廣美 大賀重毅・安田雅豊 梅高賢正・間地健一 上野紘正・中山知康 堂本高雄
----	--

第45期（2019年～2020年）

RI会長 マーク・ダニエル・マロニー氏のテーマ
ロータリーは世界をつなぐ
クラブテーマ
新しい時代、ロータリーの原点に戻ろう

45期会長
大賀重毅

私は、2008～2009年度10年前になりますが、会長を務めさせて頂き、今回2回目という事になりました。この新しい令和の2019～2020年度を新たな気持で努めさせて頂きます。1年間宜しくお願ひ致します。

さて今年度のRIテーマは『ロータリーは世界をつなぐ』です。会長としての私の礎は「つながり」と致します。これは人とのつながりは、もちろんの事、それを通じての地域社会とのつながり、まさにロータリーの原点であると思います。

この22名の会員の皆様と共につながりを通じて、ロータリアンとしての奉仕活動を推進、実践していきたいと思思います。これを実行する原点には、クラブがあります。

今、3年に一度の規定審議会で、色々採択されています。時代と共に変えなければならない事は、あると思いませんが、なかなか大変だなあ、と思思います。

令和の始まりに改めてロータリーの原点に戻り、クラブの運営を皆で、考えて行きたいと思っております。

本年は、以下の主要事業、主要目的を設定し活動を行いたいと思います。

- ①第11回自分がなりたい職業の絵・の事業
- ②大田RCとの青少年交換学生事業
- ③会員拡大—5名の拡大
- ④例会の充実—親睦の拡大

最後になりますが、メンバー同士のつながりを通じ、活動すると共に、仲間を増やしていくよう、頑張っていきたいと思思います。

1年間よろしくお願ひ致します。



会長 大賀重毅
直前会長 神本博志
副会長 上野紘正
幹事 諫山宏義
副幹事 久末京泰
会計 間地健一
S. A. A 神本博志
副S. A. A 安田雅豊

理事 大賀重毅・神本博志
河野誠男・上野紘正
諫山宏義・間地健一
慶田祐一・久末京泰
堂本高雄

第46期（2020年～2021年）

RI会長 ホルガー・クナーク氏のテーマ
ロータリーは機会の扉を開く
クラブテーマ
今こそロータリー

46期会長
河野 誠男

新型コロナの世界的拡大は我々の生活様式や価値観を大きく変えました。終息という兆しが見えない中、わたくしたちは足踏みを続けるよりもむしろコロナと共に先に進むべきでしょう。パンデミックとしてコロナの我々に与えた影響は大きく、経済や健康、社会制度にまで及んでいます。このため人間の業である自己中心的な考えがあちこちから顔を出してきており、世界同時カオスの状況です。

これはポール・ハリスがロータリークラブを創設した1905年の状況と酷似しています。当時のアメリカは急速な工業化の波と、ヨーロッパからの大量移民の波が同時に押し寄せ様々な社会システムに混乱を招き、人々の価値観までも変えた大激動期でした。そしてこの時期にロータリーの価値観が広く世界に受け入れられていったわけです。

現在はIT化の深化で社会を取り巻く環境は当時とは大きく変わりましたが、人間としての根本的な部分は変わっていません。つまり、ロータリーの親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップといった中核的価値観はますます大切にされなければいけない時代になってくると感じています。今こそロータリー活動にいそしみ社会に良いことをする時期なのではないでしょうか。

振り返ってわがクラブを見てみると、今期は18名という創立以来最小会員数でのスタートとなります。会員数の増加を追い求めることがロータリーの本質ではありませんが、会として機能するためには適度な会員数が必要です。ここまで会員数が低減してきた原因の一つが、クラブの魅力、求心力の低下をだとすれば、今期はまず我がクラブは「奉仕活動を通じた親睦」に重点を置きクラブの体質を強化し魅力あるものにしていきます。

さらにはわがクラブの将来を見据え新たな奉仕活動を企画立案する必要があります。このために今期は戦略委員会を立ち上げ、5年後、10年後のわがクラブの在り方を皆さんと議論して行きたいと考えております。

「山椒は小粒でもピリリと辛い」そんなロータリークラブへみんなで変身しようではありませんか。

当期重点目標：戦略委員会を設置してクラブの中長期計画を策定する

奉仕を通じての親睦を実践する

戦略会議での協議事項

- ・奉仕活動の再点検
- ・クラブ細則の変更
- メーティング期間の変更 例会参加規程(ZOOM規程の追加)
- ・衛星クラブの立ち上げ
- ローターアクト経験者を再結集 中津地区におけるローターアクトクラブの再結成を目指す
- ・太田RCクラブとの交流の再考察



会長	河野誠男
直前会長	大賀重毅
副会長	梅高賢正
幹事	堂本高雄
副幹事	三宮洋平
会計	境弘行
S. A. A	大賀重毅
副S. A. A	安田雅豊

理事 河野誠男・大賀重毅
恒藤雅彦・梅高賢正
堂本高雄・境弘行
慶田祐一・久末京泰
諫山宏義

第47期（2021年～2022年）

RI会長 シェカール・メータ氏のテーマ
奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために
クラブテーマ
四つのテストをもっと実行しよう！

47期会長
恒藤 雅彦

今年度のRI会長のシェカール・メータ氏のテーマは、「奉仕をしよう みんなの人生を豊かにするために」です。ほかの人のために生き、世話をし、奉仕することで誰かの人生を豊かにすることは、自分の人生の最高の生き方です。と述べています。

そして、第2720地区のガバナー大森克磨氏は、地区スローガンとして「ロータリーのパワーは親睦が生み出す！あらゆる場面を親睦の機会に～話しかけよう～」です。親睦が何らかの「力」を生み出し、そこから生まれるパワーを奉仕にと述べています。

RI会長やガバナーのテーマ・スローガンのように、ほかの人のために生き、最高の生き方をするとともにもっと親睦を深めましょう。一年間会員の皆様には是非、実行していただきたいと思っています。

今年度のスローガンは、「四つのテストをもっと実行しよう！」です。

私は、ロータリーの入会時に「四つのテスト」を知ってとても衝撃だったことを覚えています。この「四つのテスト」には、ロータリー活動だけでなく仕事の上でも日常生活の中でもとても重要な言葉を簡潔にまとめているからです。

現在、コロナ禍の中でいろいろな価値観等が変わろうとしています。昨日までの常識が今日からは非常識になることもあるでしょう。そのような中でも、やはり基本的な考え方や倫理観は変わってほしくないものです。我々ロータリアンとして、四つのテストを常に判断の軸にしたいと思います。

中津中央ロータリーの会員の皆様は、私がこのように四つのテストを実行しようというまでもなく、日ごろから実行されているかと思いますが、今年度は今まで以上に四つのテストを実行していただきたく思っています。それが、コロナ禍で思うような活動ができないときにこそ、会員一人一人が仕事や日常生活の中で実行することがせめてできることであり、またそうすることが、より一層人生を豊かにできると確信しています。

会員全員が豊かな人生を送っていれば、プラスがプラスを呼び会員の増強も容易にできると思います。みんなで、四つのテストをもっと実行しましょう。

これから1年間皆様には助けていただくことが多々あるかと思いますが、是非ご協力していただきよくお願ひ申し上げます。

最後に、中津中央ロータリークラブは、決して大きいクラブとは言えませんが、一人一人が輝いているクラブを作りたいと思っています。1年間宜しくお願ひ申し上げます。



会長	恒藤雅彦
直前会長	河野誠男
副会長	諫山宏義
幹事	堂本高雄
副幹事	福田太郎
会計	高野敏治
S. A. A	河野誠男
副S. A. A	慶田祐一

.....

理事	恒藤雅彦・河野誠男 古田廣美・諫山宏義 堂本高雄・高野敏治 久末京泰・境 弘行 三宮洋平
----	--

第48期（2022年～2023年）

RI会長 ジェニファー E. ジョーンズ氏のテーマ

想像してください、私たちがベストを尽くせる世界を。

私たちは毎朝目覚めるとき、その世界に変化をもたらせると知っています。

クラブテーマ

クラブに新しい…を

48期会長

古田 廣美

中央ロータリーに入会させて頂き11年弱となります。

2017～2018年度第43期の会長をさせて頂き、2回目の会長が来るなど夢にも思っていませんでしたが、今 のクラブの会員数では、仕方ないのかなども思っています。

さて、今年度の国際ロータリー会長(初の女性)ジェニファーE.ジョーンズ氏のテーマは「イマジン ロータリー」です。ポリオのない世界、みんなが安全な水を使える世界、疾病のない世界、全ての子供が読み書きができる世界、を想像し(イマジン)それを実現させるために行動するかどうか決めるのは私たちです。

これを受け2720地区ガバナー堀川貴史氏は、ロータリークラブは信頼できる仲間の集まりなので例会やクラブの事業に参加し、親睦をはかり、家庭・職場・地域社会に奉仕活動をしよう。ということで、地区スローガンを「ロータリーはつながりで溢れている」(友情いっぱいの仲間となにかよいことをしましょう)です。

そして当クラブのスローガンを「クラブに新しい…を」としました。

会員一人一人が今年度1つでいいので、新しい会員・新しい奉仕活動・新しい親睦のやり方等を考え、みんなで一丸となって行動に移してほしいと考えています。

今期は、2年ほど出来なかった親睦と奉仕と増強に重点を置きたい。

クラブ管理委員会においては、今年度は、3年に1度の規定審議会が開催される年でクラブの定款、細則に反映させる。地区の出前セミナーを利用しオンライン例会等を企画して頂きたい。夜間の例会を数回行い親睦や友情の輪を広げて頂きたいと思います。

奉仕プロジェクト委員会においては、職業奉仕・青少年奉仕である「自分がなりたい職業(しごと)の絵」は今年も様子を見たいと思います。そこで、地域にある子ども食堂(市内6箇所)について調査して頂き、何か応援出来ることがないか考えて頂きたい。

公共イメージ委員会においては、奉仕プロジェクト委員会・会員増強委員会と合同で公報する事で今一番問題となっている、会員増強について協議して頂きたいと思っています。

財団委員会においては、地域にある子ども食堂(市内6箇所)について、奉仕プロジェクト委員会と共同で応援出来ることがないか考えて頂きたい。

増強委員会においては、公共イメージ委員会と共同でホームページを利用した会員募集が出来ないか。大田特別委員会については、今年もコロナの様子を見ながら来年(2023年)に交流が出来たらと思っています。楽しいと感じる例会や事業をみんなで意見を出し合い実行に移しましょう。

まだまだ勉強しなければならないことが山積みですが、会長として一年間精一杯楽しみながら務めさせて頂きたいと思っていますので、ご指導、ご鞭撻、ご協力のほど宜しくお願ひ致します。



会長	古田廣美
直前会長	恒藤雅彦
副会長	岡崎誠一
幹事	久末京泰
副幹事	高野敏治
会計	境 弘行
S. A. A	恒藤雅彦
副S. A. A	新居英雅

理事	古田廣美・恒藤雅彦 慶田祐一・岡崎誠一 久末京泰・境 弘行 三宮洋平・諫山宏義 梅高賢正
----	--

第49期（2023年～2024年）

RI会長 ゴードン R. マッキナリー氏のテーマ

世界に希望を生み出そう

クラブテーマ

復活、そして再び師資相承

49期会長

慶田 祐一

今年度のRI会長のゴードンRマッキナリー氏は、スコットランド、ウェストロージアンの方です。そのスローガンは“世界に希望を生み出そう”です。

氏は1984年26歳でロータリークラブに入会し、South Queensferryロータリークラブに所属し、イギリスを拠点とする非営利団体“ホープ・アンド・ホーム・フォー・チルドレン”的後継者であると同時にエдинバラで自身の歯科医院を経営されています。

“私のビジョンは、ロータリーの仲間になりたいと思う人々、世界でよいことをしたいと願うすべての人が、それぞれに合った方法で参加できるロータリーとなること”と話されておられるようです。

これを受けて2720地区2023～24年度ガバナー膳所和彦氏は、そのスローガンを“ロータリーは学び舎であり、また遊び場である。そして今、ロータリーアクションは世界を変える”とされました。

さて、我々の今年度の目標は、“復活、そして再び師資相承”といたします。

長かった“コロナの休日”もやっと終わり、我々もようやくロータリー本来の根本の目標である交流ができるようになりました。いくつかの、我々の中津中央ロータリークラブの事業を復活させて、ロータリー活動を本来の姿に戻してゆきたいと考えています。師資相承は前回私が会長の時にも掲げたスローガンです。師の教えを受け継いでゆくことです。

会長は2回目ですが、私が最初に会長を担当させて頂いた時と同じように、皆様のご協力は最も大切なことと考えます。何卒1年間宜しくお願い致します。



会長	慶田祐一
直前会長	古田廣美
副会長	恒藤雅彦
幹事	梅高賢正
副幹事	境 弘行
会計	神本博志
S. A. A	古田廣美
副S. A. A	安田雅豊

理事	慶田祐一・古田廣美 堂本高雄・恒藤雅彦 梅高賢正・神本博志 大賀重毅・福田太郎 境 弘行
----	--

第50期（2024年～2025年）

RI会長 ステファニー・アーチック氏のテーマ
ロータリーのマジック
クラブテーマ
50年の軌跡をBrush up そして無限の未来へ

50期会長
堂本 高雄

国際ロータリー会長ステファニー・アーチック氏は、2024-25年度会長テーマ「The Magic of Rotary」(ロータリーのマジック)と掲げ、第2720地区ガバナー三村彰吾氏は、2024-25年度地区スローガンを「寛容な心でロータリーの未来、そして若者の未来を考えよう」を定めています。

中津中央ロータリークラブは、2024年度を迎える、50周年という節目を迎えます。これまでの歩みを振り返りつつ、未来への展望を掲げ、新たな時代に向けてクラブの活性化と社会貢献の推進を図ります。

1 50年の軌跡を讃え、新たな歴史を築く

- ・50周年記念事業として、これまでの活動の成果を振り返る事業や、会員相互の親睦を深める記念事業などを開催します。
- ・これまでの経験と知見を活かし、より効果的な社会貢献活動を目指します。

2 グローバルな視野を広げ、国際交流を深める

- ・海外のロータリークラブとの交流を積極的に進め、国際的なネットワークを構築します。
- ・国際的な課題解決に向けたプロジェクトに参加し、中津の力を世界に発信します。

3 子ども食堂の経済的支援を継続し、地域の子どもたちの未来を応援する

- ・子ども食堂への継続的な支援を行い、地域の子どもたちの健やかな成長をサポートします。(50周年事業)
- ・地域の企業と連携し、子ども食堂の安定した運営を支援します。(50周年事業)

4 自分になりたい職業の絵の継続 魅力発信

- ・自分がなりたい職業の絵のコンテストを継続し、子どもたちの夢と創造性を育みます。
- ・入賞作品を展示や年間を通して週報、ホームページTOPへ掲載(50周年事業)することで、事業の魅力を広く発信します。

5 城下町中津の町名板をICT、AIの活用し多言語対応に更新

- ・城下町中津の町名板のICT、AIを活用しグローバル対応(50周年事業)を進め、歴史や文化をよりわかりやすく、多くの人に伝える仕組みを作ります。
- ・外国語対応や音声読み上げ機能などを導入し、訪日外国人にも情報を提供します。

中津中央ロータリークラブは、50年の歴史を踏まえ、新たな時代に向けて、基本方針についてディスカッションを行い、それぞれの意見を共有し、より良い方針へとブラッシュアップします。会員相互の親睦を深め、グローバルな視野を広げ、地域社会に貢献していきます。

会員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



会長 堂本高雄
直前会長 慶田祐一
副会長 諫山宏義
幹事 三宮洋平
副幹事 神本博志
会計 久末京泰
S. A. A 慶田祐一
副S. A. A 新居英雅

理事 堂本高雄・慶田祐一
梅高賢正・諫山宏義
三宮洋平・久末京泰
古田廣美・恒藤雅彦
大賀重毅